

## 液圧クラッチマスタシリンダ

## Hydraulic clutch master cylinders

1. 適用範囲 この規格は、自動車用液圧クラッチマスタシリンダ（以下、マスタシリンダという。）について規定する。

備考 この規格の引用規格を、付表1に示す。

2. 種類 マスタシリンダの種類は、表1のとおりとする。

表1 種類

種類	区 分
1種	普通の温度の作動条件で使用できるもの
2種	高温の作動条件で使用できるもの
3種	特殊な高温の作動条件で使用できるもの

3. 最高使用圧力 マスタシリンダの最高使用圧力は、原則として10 MPaとする。

## 4. 性能

- 4.1 構成部品の性能 マスタシリンダの主な構成部品の性能は、次のとおりとする。

- (1) シリンダボデー内及びリザーバに 100 kPaの空気圧を加えたとき、空気漏れがあってはならない。
- (2) ピストン又はプランジャのプッシュロッド挿入穴に100 kPaの空気圧を加えたとき、空気漏れがあってはならない。
- (3) プライマリカップ及びセコンダリカップは、JIS D 2605の1種、2種又は3種の性能を満足しなければならない。
- (4) リターンスプリングは、JIS B 2707の規定に適合しなければならない。

- 4.2 組立品の性能 組立品の性能は、次のとおりとする。

試験液は、JIS K 2233に適合する液又は受渡し当事者間の協定によって定めた液とする。

- (1) 連通 液圧送出口から空気を送ったとき、リリーフポート又は給液口から空気が流出しなければならない。
- (2) 無効行程 液圧送出口から空気圧50～150 kPaの空気圧を送り、リリーフポート又は給液口からリザーバ内に流出させておき、ピストン又はプランジャを静かに押し込み、プライマリカップからリリーフポートを閉じるか又はインレット弁が給液口を閉じ、リザーバ内への空気の流出が止まったときのピストン又はプランジャの行程は、0.5～2.3 mmの範囲になければならない。
- (3) 送り出し機能 シリンダボデー内及びリザーバに試験液を満たし、ピストン又はプランジャを連続往復させたとき、液圧送出口から液が継続的に出なければならない。
- (4) セコンダリカップの気密性及びピストン又はプランジャの作動円滑性 シリンダボデー内及びリザーバに試験液を満たし、プッシュロッドを静かに有効行程にわたって数回往復させたとき、ピストン又はプランジャはなめらかに作動し、セコンダリカップから液漏れがあってはならない。
- (5) もどり早さ シリンダボデー内及びリザーバに試験液を満たし、ピストン又はプランジャを有効行程にわたって前進させたのち、液圧送出口を密閉し、プッシュロッドをすみやかにもどしたとき、ピストン又はプランジャがもどり位置まで完全にもどる時間は、2秒以内でなければならない。
- (6) 耐圧性 プライマリカップがリリーフポートを又はインレット弁が給液口を閉じるまでピストン又はプランジャを前進させたのち、シリンダボデー内に最高使用圧力の130%の液圧を加え、5秒間保持したとき、各部に液漏れその他の異状があってはならない。

- 4.3 作動耐久性 マスタシリンダは、表2による作動耐久試験を行い、次の現象があってはならない。